

2020年5月15日

公益社団法人日本栄養士会 御中

一般社団法人Jミルク

「牛乳の無償提供」事業に関するご案内

一般社団法人Jミルク（川村和夫会長）では、学校給食の休止や休業等によって十分に栄養摂取ができていない方々や、感染予防・防止のために激務が続く医療従事者等の皆様を対象に、農林水産省及び独立行政法人農畜産業振興機構の支援を受け、全国の酪農乳業関係者とともに「牛乳の無償提供」事業を2020年6月14日（日）まで実施いたします。つきましては、貴会員にご周知いただきたく、本事業へのご理解とご協力賜ると幸甚です。なお、ご不明な点がございました場合は、お手数でございますが、お問い合わせください。本事業が皆様の活動に少しでもお役に立てれば幸いです。貴会員からのお申し込みをお待ちしております。

<牛乳無償提供事業実施の背景>

新型コロナウイルスの感染拡大の影響した飲食店、ホテルなどの休業・時短営業、学校の臨時休校（学校給食の休止）などによって、特に、学校給食や外食、お土産品等への牛乳・乳製品需要が大きく減少しています。一方、牛乳乳製品の原料となる全国の酪農家が育てる乳牛からしぼった「生乳」の生産量は5～6月にかけて増加してくる季節となることから、需要と供給のバランスが大きく崩れています。乳牛は生き物で、毎日搾乳しないと病気になってしまうため、急な需要の変化に増減対応することが難しい産業です。また、生乳は栄養豊富であるため傷みも早く、他食品と比べて保存の効かない食品です。

こうした需要の変化に対応し、保存の効くバターなどの乳製品を製造する工場をフル稼働するなど、業界をあげて努力を続けていますが、加工処理の能力を超えた場合は、生乳を捨てざるを得ない事態が発生する恐れもあります。

Jミルク公式サイト (<https://www.j-milk.jp/>) で詳細確認ください

＜事業実施概要＞

■ 提供期間 2020年6月14日（日）まで

■ 提供商品 原則、200ml、1000mlのいずれかの「牛乳」

※配送手配の関係で毎日お届けすることが出来ない場合もございます。また、ご相談のうえ牛乳以外の商品を提供させていただく場合がございます。

■ 提供数量 上限はありません。

※ただし、ご希望数量に添えない場合もございます。また、数量が少ない場合もお断りさせていただく場合がありますので予めご了承ください。

■ 提供対象

- ① 病院、診療所等の医療施設や保健所、新型コロナウイルス感染症の軽症者を収容している宿泊施設など
- ② デイサービスセンター、養護老人ホーム、老人福祉センター等の老人福祉施設等や障害者福祉サービスを行う施設など
- ③ 保育所、幼稚園、学童保育所、児童養護施設、児童家庭支援センター等の児童福祉施設など（臨時休校で児童預かり教室や校庭が利用できる小学校を含む）
- ④ フードバンク
- ⑤ 子ども食堂

■ 提供条件（必ずお読みください）

- ✓ 施設内で牛乳が販売されておらず、牛乳の提供が必要な施設
- ✓ お申し込み数は、提供対象者に応じた適正数量になっている
- ✓ 提供数量に応じた冷蔵設備・保冷機材があり、適切な温度管理ができる
- ✓ 提供者への乳アレルギーを確認の上、アレルギーのある人には提供されない
- ✓ 提供された牛乳は、転売など目的以外の用途で使用しない
- ✓ 各都道府県の受付窓口または、Jミルクが実施する配送内容の確認等にご協力いただける
- ✓ 事業予算や配送手配の関係などで、ご希望に添えない場合があることに同意いただける

■ お申し込み方法

所定の申込用紙に、お届け先住所・日時・希望数量、連絡先などをご記入の上、都道府県ごとの受付窓口まで、メールまたはFAXで配送希望日の1週間前までにお申し込みください。無償提供の期間は、6月14日（日）までです。お申し込み受付は6月9日（土）までを予定しております。各都道府県の受付窓口は、JミルクのWebサイトでご確認ください。

申込用紙・申込先（相談窓口）URL <https://www.j-milk.jp/news/free-milk.html>

[留意事項] お申し込みからお届けまでの日数は、都道府県によって異なります。詳しくは都道府県窓口までお問い合わせください。また、基本的に土・日曜は受け付けておりません。